

西岡見聞録

9月の西岡公園見どころは!?

9月の園内は爽やかに澄み切った空の下、一番早く紅葉を始めるヤマウルシやツタウルシが徐々に赤く色付き始めます。そこへ赤トンボと呼ばれるアカネ属のトンボが飛び交う姿がさらに彩りを加えます。散策路ではアキノキリンソウやエゾゴマナなどキク科の花が多く見られ、実りの準備を進める植物からも秋の気配を感じることができます。野鳥や他の生き物の目に触れるよう、まだ緑色の葉を残した植物にも赤い実が目立ち始めるからです。花の形からは全く想像していないような実の形になることもあります。改めて名前の由来や花について調べてみてはいかがでしょうか?管理事務所では図鑑や書籍をご用意して、皆さまのご来園お待ちしております。

【西岡公園で9月に見られる野鳥たち】

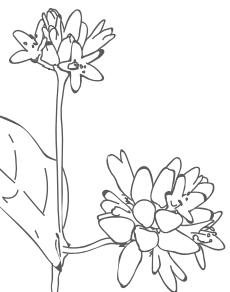
(日本野鳥の会 2018.9.2 札幌支部 HPより)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ・オシドリ | ・オオタカ | ・ヒガラ |
| ・マガモ | ・カワセミ | ・シジュウカラ |
| ・キンクロハジロ | ・コゲラ | ・ヒヨドリ |
| ・カイツブリ | ・アカゲラ | ・ゴジュウカラ |
| ・キジバト | ・ハシフトガラス | ・キバシリ |
| ・アオサギ | ・ハシフトガラ | ・キセキレイ |
| ・ハイタカ | ・ヤマガラ | |

【湿地に群生する花】

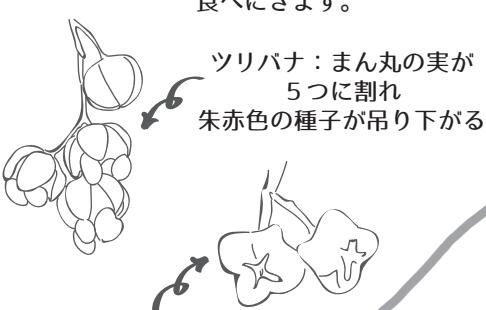
タデ科のミソソバや
アキノウナギツカミが木道脇を
埋め尽くします。

どちらも順繰りに花が咲くため
一度に開花せず、花と蕾の色合いが
長く楽しめます。金平糖のような
花の形も可愛らしい。



【ツリバナとマユミの違い】

実がはじけると
まるでくす玉のようになります。
赤い実を野鳥が好んで
食べにきます。



マユミ: 淡紅色に熟すと
実は4つに割れる
種子は赤色

茎をくるりと抱え込み
葉は平たく細長い形を
しているのが
アキノウナギツカミ→



葉が鉢(ほこ)の形を
しているのが
←ミソソバ



木々に巻き付く
ツタウルシが
徐々に真っ赤に
色付きます

種を飛ばす
キツリフネや
ツリフネソウが群生



【キツリフネ】
「おこりんぼう」とも呼ばれる
キツリフネ

鞘に触ると弾けて
種が勢いよく飛び出します
花がすっかり無くなり、
鞘だけになる頃に
優しく触ってみましょう。



散策の後は
マダニチェックも
お忘れなく!!